



国際理解講座

「韓国文化の旅」 ～儒教からウエディングまで～ を開催しました

【第1回 韓国文化理解講座】

1月18日(土)、文化会館にて韓国文化理解講座を開催しました。

「韓国」がテーマの講座は、いつも大変人気ですが、今回も57名もの申し込みがありました。インフルエンザの流行期間にもかかわらず、数名の欠席者を除き、会場はほぼ満員となり、賑やかに講座を開催することができました。

講師は、在日コリアン 3世の申 絹愛^{しん きよね}さんで、普段は、司会業や韓国語講師、韓紙工芸講師として活躍されています。

講座では、儒教に基づく日韓文化の違い、映画やドラマから見る韓国の歴史、韓国おすすめスポット、韓国で大人気な日本の文化、日韓ウエディングの違いから見る日韓の違い、そして日本国内での韓国文化など、多岐にわたる内容をお話いただきました。

特に印象的だったのは、儒教の影響で韓国では先祖や親を大切にす文化が根付いているというお話や、礼に基づく祭事の行事、1歳の年齢差でも敬語を使うこと、一礼の際の手の重ね方が男女で異なる(男性は左手が上)ことなど、興味深い文化的なマナーについての説明でした。

さらに、韓国の「アジュンマ」(おばちゃん) パワーについての話題では、特徴が大阪のおばちゃんに似ているというユーモアあふれるトークに、会場は笑いに包まれました。例えば、山登りをしないのにサンバイザーをして登山ウェアを着ていたり、(ヒョウ柄など)派手な服装やパンチパーマのスタイル、そしてノーメイクでもスキンケアに力を入れて美肌を保つという話題がありました。

また、映画については李氏朝鮮時代、日本統治時代、朝鮮戦争時代、民主化闘争時代のそれぞれに焦点を当てた作品が紹介され、歴史を学ぶ手がかりとして興味深い内容となりました。

他にも、韓国の隠れた観光スポットや、韓国で人気の日本の人物や文化などなど、非常に充実した内容が盛り込まれた講座でした。

最後には多くの質問が飛び交い、参加者のみなさんの関心の高さが伺えました。

【第2回 韓紙工芸講座】

2月15日(土)、文化会館の陶芸室にて韓紙工芸講座を開催しました。定員を超える22名の方々にご参加いただきました。

韓紙工芸とは、日本の和紙に似た「韓紙^{はんじ}」を使い、生活用品や小物、家具などを作る伝統工芸です。韓紙は和紙と同じく楮^{こうぞ}の木の皮を原料とし、古くから障子や壁紙などに用いられてきました。その耐久性と保存性の高さは「千年経っても変わらない」と言われるほどです。

今回の講座では、伊勢型紙のように模様を彫る技法を用いた型紙を使った作品づくりに挑戦しました。参加者のみなさんは熱心に取り組み、そのあまりの集中ぶりに講師の絹愛^{きよね}さんが「皆さん、息をしてくださいね～」と声をかける場面も。教室には和やかな笑いが広がりました。

完成した作品はどれも美しく、「何を入れようかしら？」と嬉しそうに話される姿が印象的でした。

韓国の伝統文化に触れながらの楽しいワークショップとなりました♪

